

## 令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における野中小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年4月から令和4年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

### 1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5学年、特別支援学校小学校部第5学年の原則として全児童
- ・野中小学校では、5年生 30名

### 3 調査内容

- ・児童に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）  
小学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、  
50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

- イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」という。）  
を実施する。

## 令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

### 学校の概要

野中小	学校	児童数	250
-----	----	-----	-----

#### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.05	20.89	33.05	38.63	35.82	9.30	154.37	21.89	51.94
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	17.36	18.55	37.18	37.09	31.73	9.65	142.45	14.18	53.82
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

#### 結果の概要

##### 【体力・運動能力について】

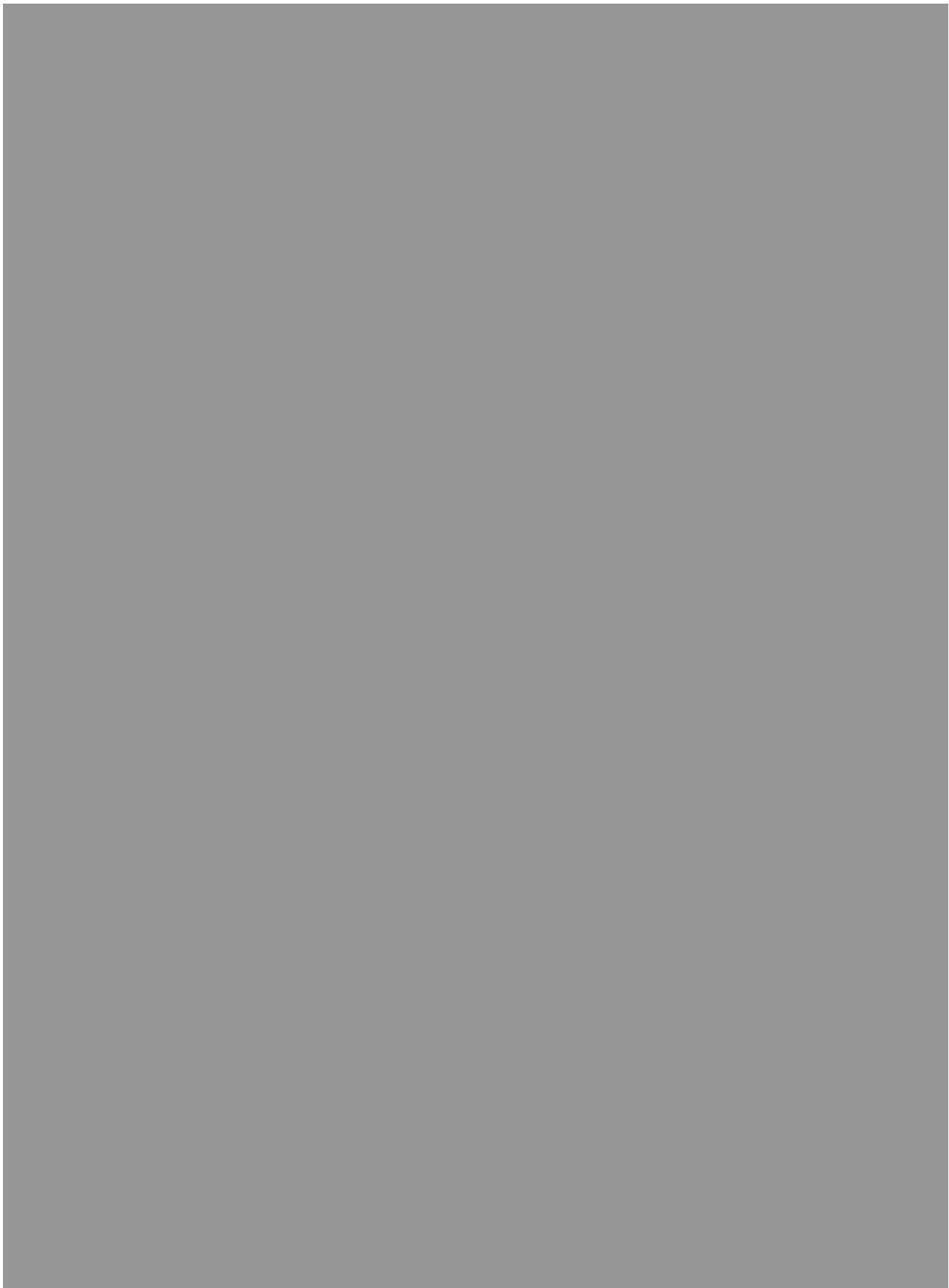
男子の立ち幅跳び及び、男子女子とも、握力、上体起こし、50m走、ソフトボール投げについては、大阪及び全国よりも高い結果であった。また、長座体前屈、20mシャトルランについては低い結果であった。体力合計点では、全国平均より低かったが、大阪市の平均は上回っている。

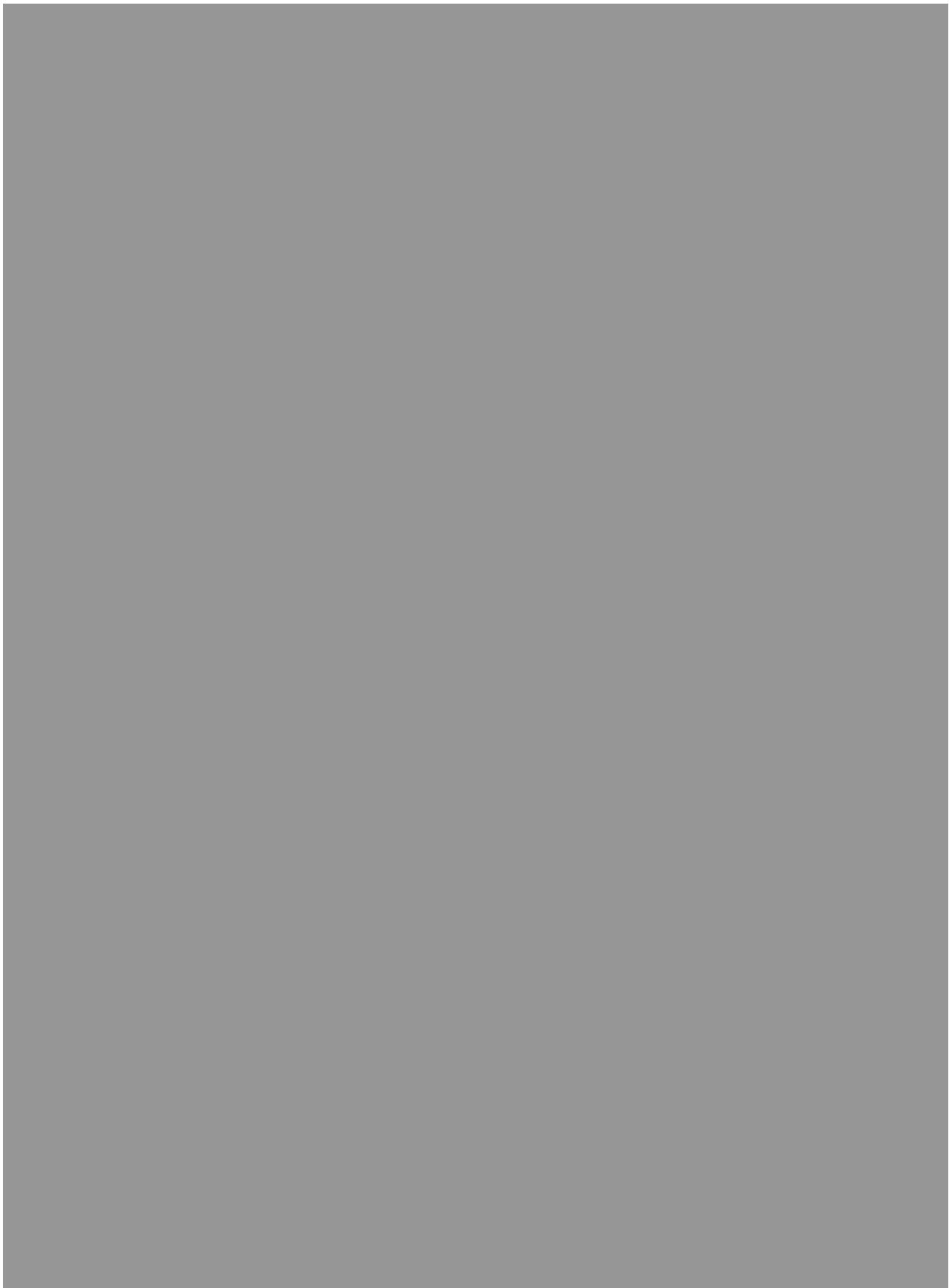
##### 【運動習慣等について】

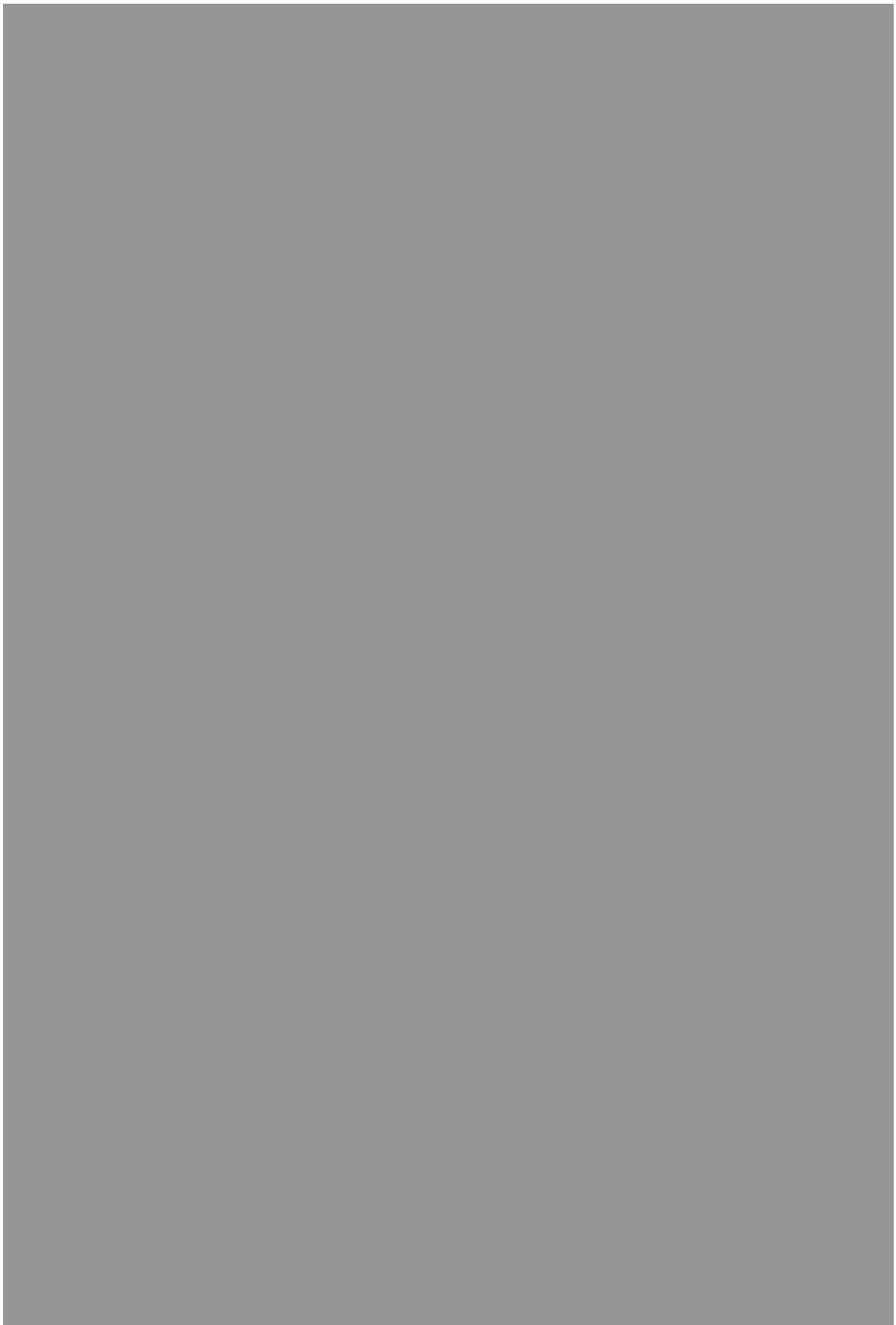
質問紙に関しては、男子は「運動が好きですか」の「好き」と回答する割合が大阪市、全国に比べ高い。女子では、「やや好き」を含む肯定的回答が、大阪市及び全国の平均をわずかであるが下回っている。「運動やスポーツは大切ですか」の肯定的回答については、男子は大阪市・全国の平均より低い傾向にあり、女子については、「大切」という回答については下回っているが、「やや大切」も含んだ肯定的回答では、全国と同等程度である。「中学校で授業以外でも自主的に運動をする時間を持ちたいですか」では、女子の肯定的回答が顕著に低い結果であった。一週間の総運動時間（体育の授業以外）の平均については、男子は、どの曜日も60分を上回り、大阪市、全国平均よりも高い。女子についても平日で60分を下回っている曜日があるものの、大阪市及び全国の平均よりも高い結果であった。

#### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は、コロナ禍前の体育科の授業については、学習カードの工夫やICT機器の活用を中心に取り組みを進めてきた。休み時間の内容の充実や、遊具の活用、全校集会の活用の取り組みも同時に進めてきた。ウイルスの流行により、取り組みや内容の変更、中止をさせざるを得ない状況も出てきたが、来年度に関しては、コロナウイルスの影響が少なくなっていくと考えられる。改めて、体育的行事を見直しを図り、時期の変更や、計画の見直しをしっかりと行っていきたい。体育科のICT機器の活用等をさらに進め、楽しい体育科授業の充実を目標に、体育の授業の中で体力や運動能力を高める取り組みを行っていきたい。また、体育の授業や行事の中で、児童自身が自尊心を高められるよう、できる喜び、認められる喜びを味わわせながら取り組みを進めていく。







## 運動やスポーツについて（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

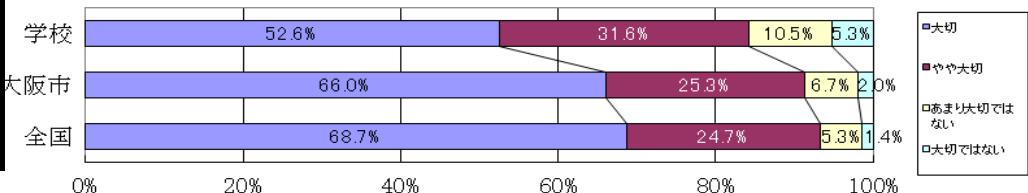
#### 検証項目1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



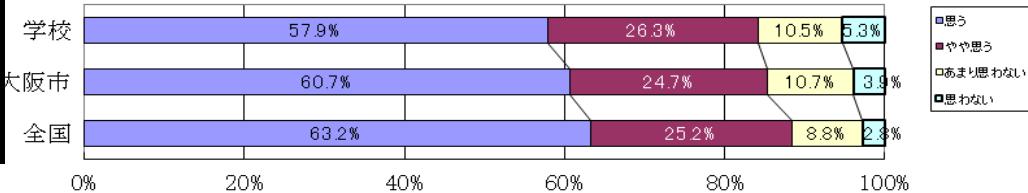
#### 検証項目2

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



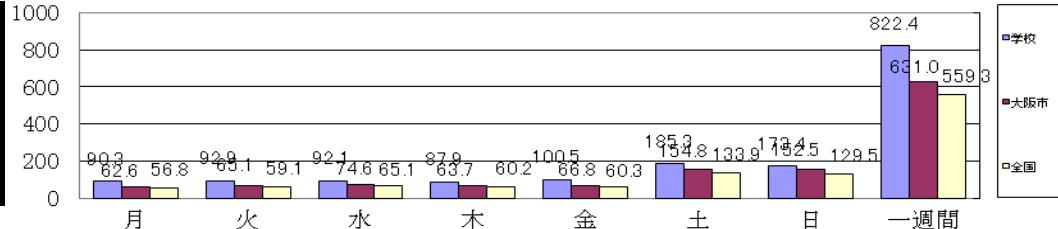
#### 検証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



#### 検証項目4

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



### 成果と課題

「運動が好きですか」の「好き」と回答する割合が大阪市、全国平均に比べ高かった。「運動やスポーツは大切ですか」の肯定的回収については、大阪市・全国の平均より低い傾向にある。「中学校で授業以外でも自主的に運動をする時間をもちたいですか」では、全国平均より若干低いが、大阪市と同程度である。一週間の総運動時間（体育の授業以外）の平均については、男子は、どの曜日も60分を上回り、大阪市、全国平均よりも高い。運動することに対する意欲と習慣は、培われていると考えられる。

### 今後の取組

引き続き、児童に運動やスポーツをする楽しさ味わわせるための体育科の授業の工夫を行っていく。また、運動することの大切さ、良さを感じさせるような指導についても考えていきたい。いろいろなスポーツを体験させる機会も設定したい。

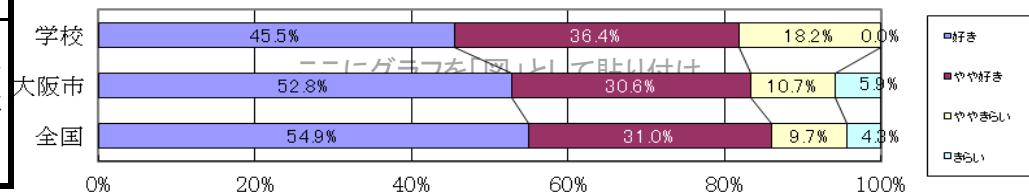
## 運動やスポーツについて（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

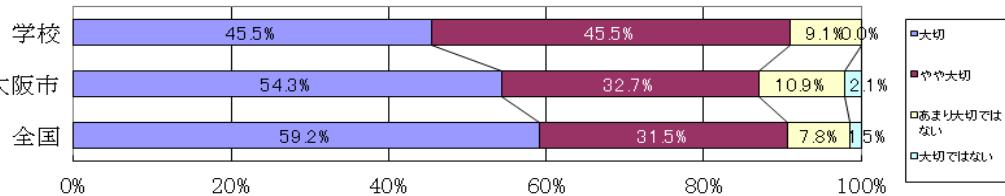
#### 検証項目1

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



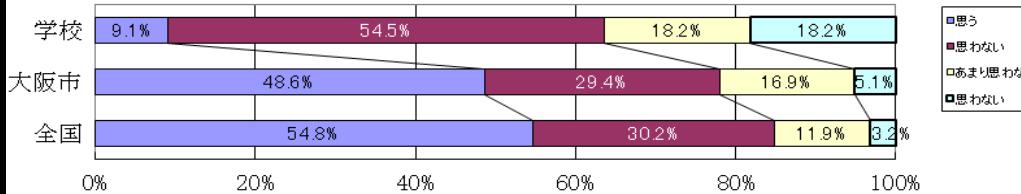
#### 検証項目2

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



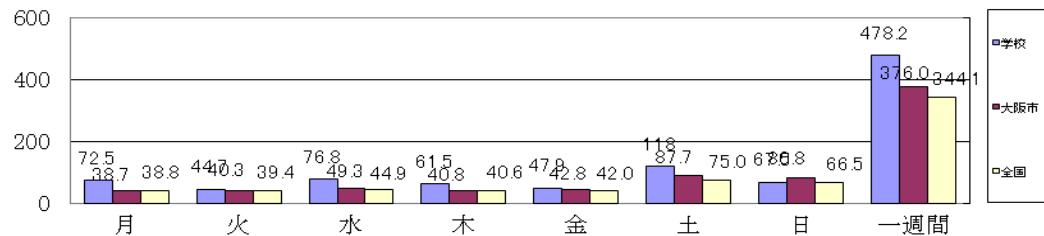
#### 検証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



#### 検証項目4

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



### 成果と課題

「運動が好きですか」肯定的回答の「好き」と回答した児童が、大阪市及び全国の平均を下回っている。「運動やスポーツは大切ですか」の肯定的回答については、「大切」という回答については下回っているが、「やや大切」も含んだ肯定的回答では、全国と同等程度である。「中学校で授業以外でも自主的に運動をする時間をもちたいですか」では、女子の肯定的回答が顕著に低い結果であった。一週間の総運動時間（体育の授業以外）の平均については、平日で60分を下回っている曜日があるものの、大阪市及び全国の平均よりも高い結果であった。現在、運動はしているが、これからも進んで運動をしたいという意欲が持てるような取り組みを行う必要がある。

### 今後の取組

運動に進んで取り組もうとする意識を育てるために、運動やスポーツをする楽しさや、良さを理解させるための体育科の授業の工夫を行うとともに、いろいろなスポーツを体験させる機会を設定する必要がある。

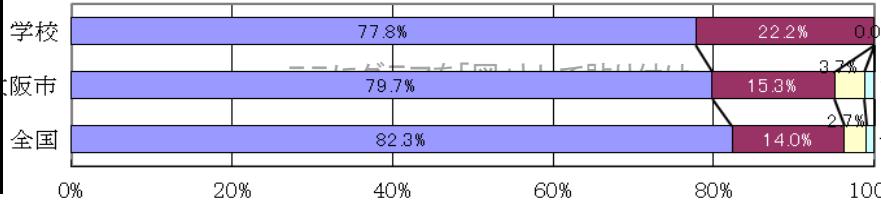
## ふだんの生活について（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

#### 検証項目1

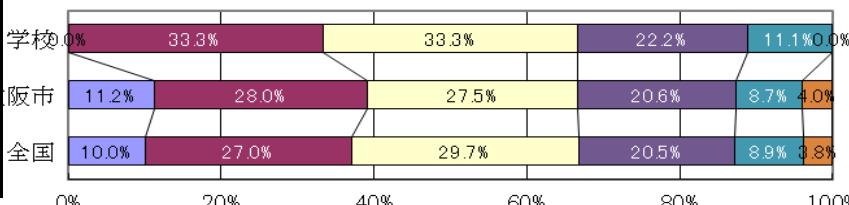
朝食は毎日食べますか。  
(学校が休みの日もふくめます)



毎日食べる  
食べない日もある  
食べない日が多い  
食べない

#### 検証項目2

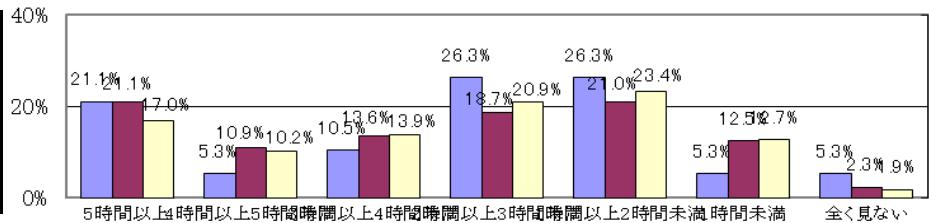
毎日どのくらいねていますか。



10時間以上  
9時間以上10時間未満  
8時間以上9時間未満  
7時間以上8時間未満  
6時間以上7時間未満  
5時間未満

#### 検証項目3

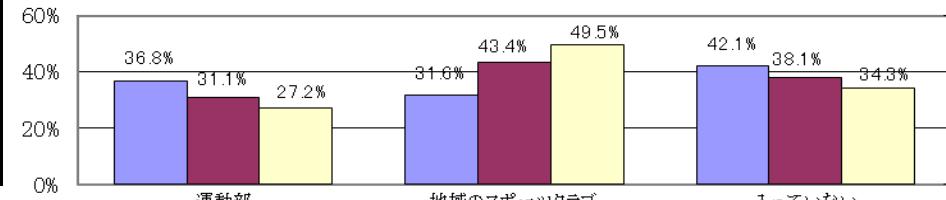
平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



学校  
大阪市  
全国

#### 検証項目4

学校の運動部や学校外のスポーツクラブに入っていますか(スポーツ少年団をふくむ)。



学校  
大阪市  
全国

### 成果と課題

朝食を毎日食べる児童の割合は、大阪市や全国に比べ低いが、70%は超えている。睡眠に関しては、10時間以上、睡眠時間をとっている児童の割合が大阪市や全国平均よりも低いが、8時間以上である児童の割合は高い。また、平日に学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が1時間未満の児童が少なく、2時間以上見ている児童が多い実態があり、課題となっている。

### 今後の取組

朝食や、睡眠の大切さについて考えさせる指導を継続的に行う。また、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間を減らす意識付けをするための、取り組みを行う必要がある。外部講師を招いて児童へ健康な生活を行うことの大切さを知らせるための取り組みを計画していきたい。

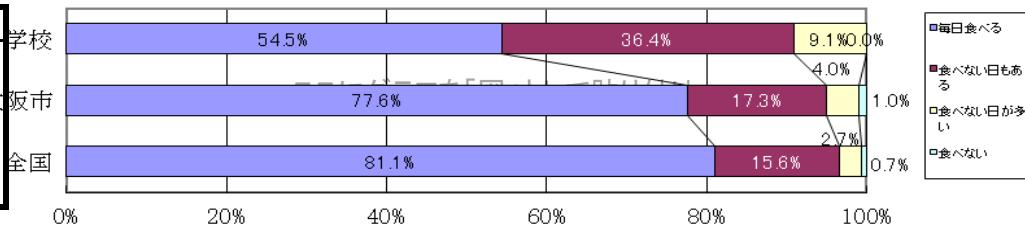
## ふだんの生活について（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

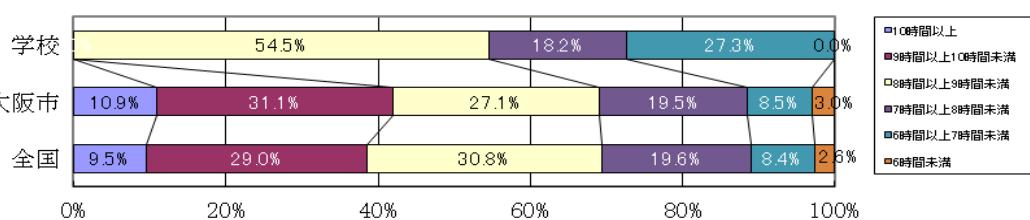
#### 検証項目1

朝食は毎日食べますか。大阪市  
(学校が休みの日もふくめ  
ます)



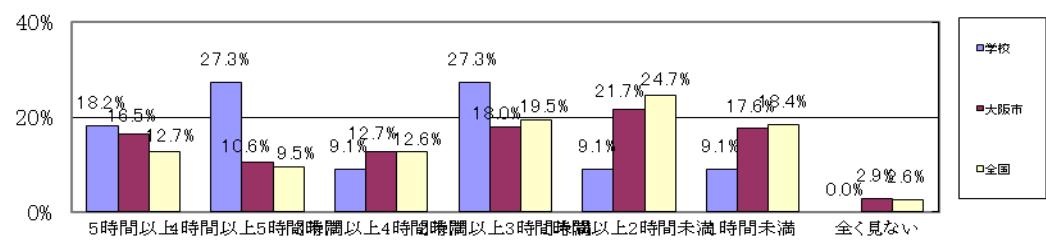
#### 検証項目2

毎日どのくらいねています  
か。



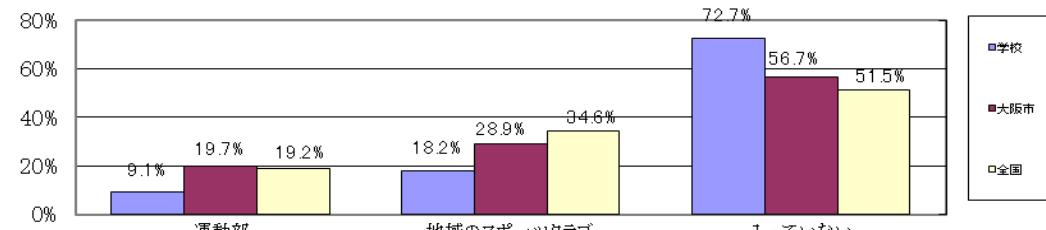
#### 検証項目3

平日(月～金曜日)について聞  
きます。学習以外で、1日にど  
れくらいの時間、テレビや  
DVD、ゲーム機、スマートフォ  
ン、パソコンなどの画面を見  
ていますか。



#### 検証項目4

学校の運動部や学校外の  
スポーツクラブに入っています  
か(スポーツ少年団をふくむ)。



### 成果と課題

朝食を毎日食べる児童の割合は、大阪市や全国平均よりも低い。睡眠に関しても、8時間以上、睡眠時間をとっている児童の割合が大阪市や全国平均よりも大幅に低い結果が出ている。一方、平日に学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている児童の割合が高く、運動部やスポーツクラブに入っている児童の割合は低い傾向にあることが気になる点である。

### 今後の取組

女子についても、朝食や睡眠の大切さについて、児童への意識づけを行えるような取り組みが必要である。テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間を減らす意識付けも行っていきたい。来年度も、外部講師を招聘する等、児童へ健康な生活を行うことの大切さを知らせるための取り組みを行い、朝食、睡眠、運動することの大切さについての意識づけを行いたい。

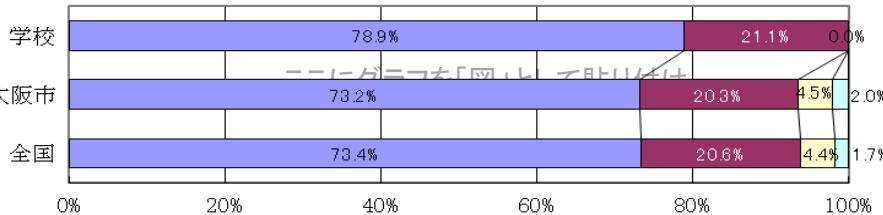
## 体育の授業について（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

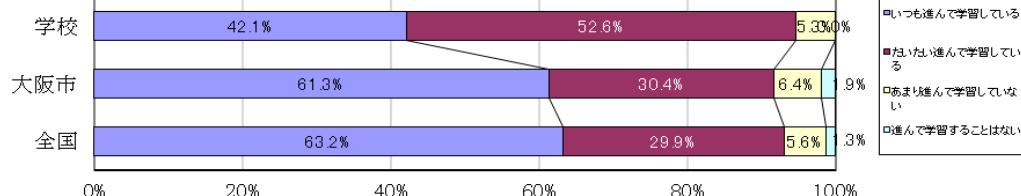
#### 検証項目1

体育の授業は楽しいですか。



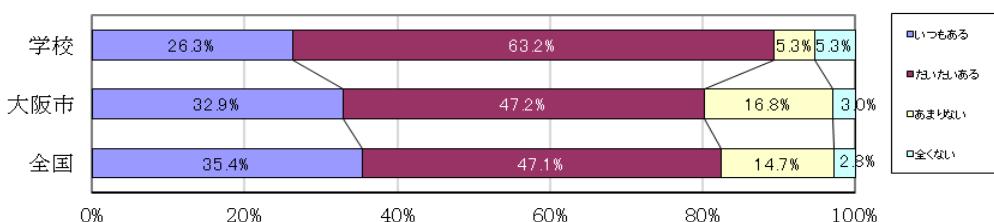
#### 検証項目2

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



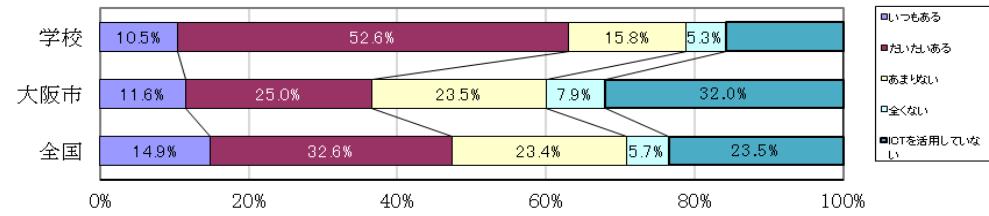
#### 検証項目3

体育の授業では、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



#### 検証項目4

体育の授業では、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



### 成果と課題

全国・大阪市の平均値を上回り、体育の授業に積極的な傾向がみられる。また、友達同士の関わりの中でも、互いに助け合い、教えあいながら切磋琢磨できていると考える。しかしながら、ICT機器を使った授業展開においては、肯定的回答が大阪市や全国平均を上回っているものの、約60%にとどまっている。

### 今後の取組

ICT機器を活用した授業展開を目指していきたい。高学年では、ICT機器を使った授業を実施したこともあったが、低・中学年での実施が特に少なかったように感じる。そのため、学校全体で“学年に応じたICT機器を用いた授業展開”を考えていく必要がある。

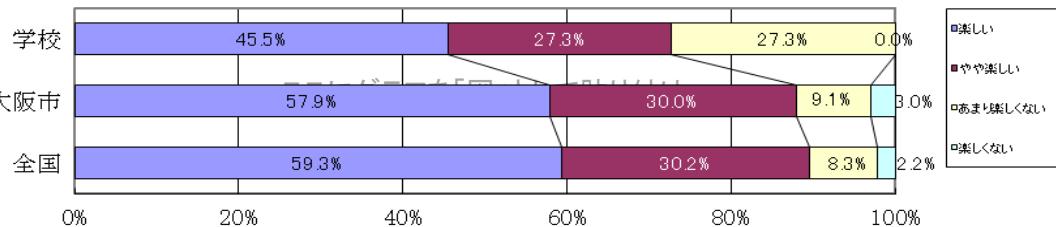
## 体育の授業について（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

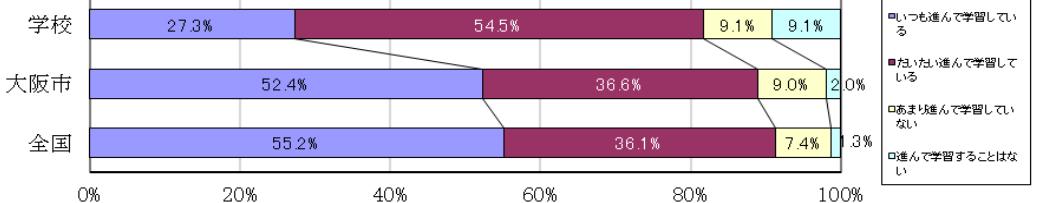
#### 検証項目1

体育の授業は楽しいですか。



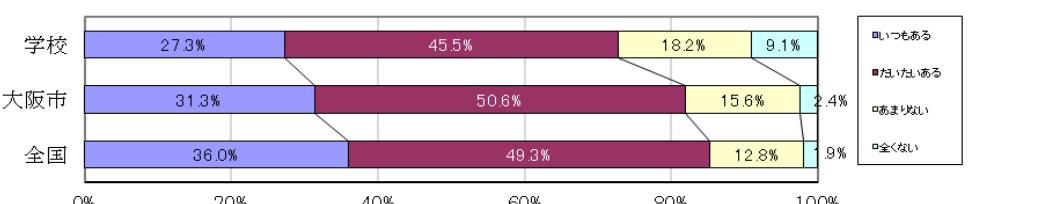
#### 検証項目2

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



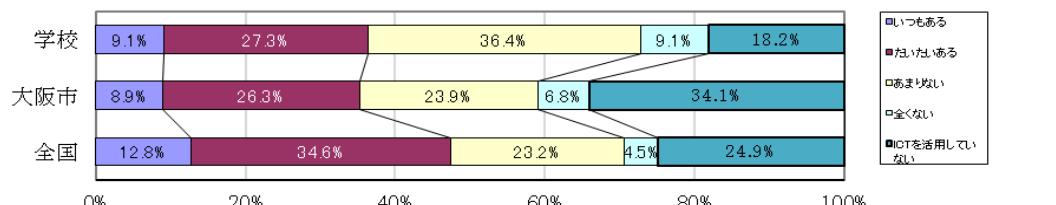
#### 検証項目3

体育の授業では、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



#### 検証項目4

体育の授業では、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



9 授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした 10 できるようになったことがない

### 成果と課題

男子に比べ、女子は体育の授業に消極的な結果となった。全国・大阪市の平均を約15~20%下回っていることを考えると、全員が楽しめる授業展開を考えていかなければならない。また、ICT機器を使った学習においても、大阪市の平均は超えているものの、約36%と低い結果となってしまった。このことから、体育の授業への意欲を高めることを優先し、進んでICT機器を使った活動を取り入れていきたい。

### 今後の取組

体育の授業に意欲的に取り組ませるために、「できた」を感じさせられる工夫と支援を行っていきたい。チームで行う種目に関しては、みんなが楽しめるためにルールの工夫を取り入れたり、チーム編成を柔軟に考えていきたい。また、出前授業や研修で得た情報を職員全体で共有し、授業力の向上を目指していく。

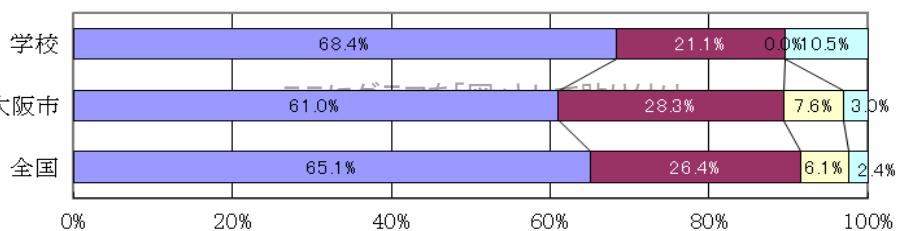
## その他（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

#### 検証項目1

体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。



■思う  
■やや思う  
□あまり思わない  
■思わない

#### 検証項目2

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



■目標を立てている  
■目標を立てていない

#### 検証項目3

#### 検証項目4

### 成果と課題

体育の授業に取り組むことで、健康的な生活をおくことができるという意識はあるものの、目標を立て計画的に実践していくことについて最も肯定的な「思う」と回答した児童は、大阪市や全国の平均と比べると高いが、68.4%という結果で、十分とはいえない。より、体育の重要性を理解させ、実践につなげていきたい。

### 今後の取組

体力向上のために、冬季ではなわとび週間やかけあしタイムなどを行っている。しかし、春や秋には、学校全体での体育的な取り組みが少ないとため、体を動かすことへの意識が下がっていると考えられる。そのため、春や秋にも体を動かす取り組みを実施し、カードなどを用いて目標を決め、体育への意識を高めていく。

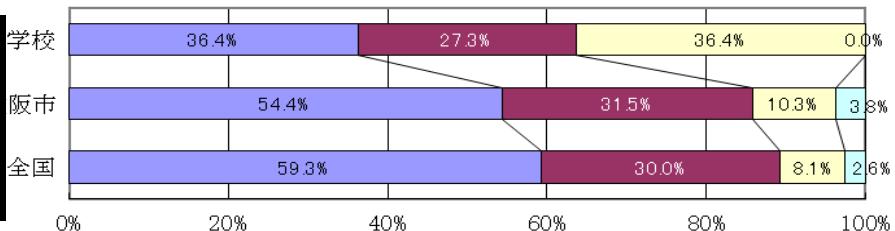
## その他（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

### 本校の特徴的な結果

検証項目1

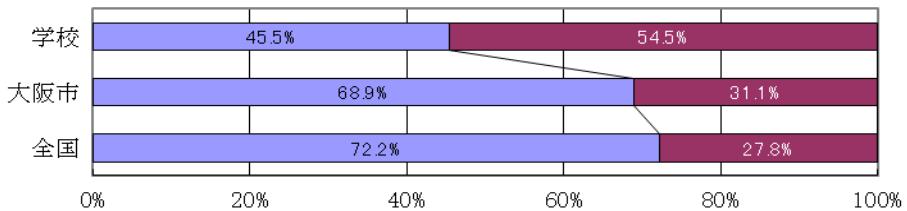
体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。



- 思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

検証項目2

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



- 目標を立てる
- 目標を立てていない

検証項目3

検証項目4

### 成果と課題

どちらの項目も、肯定的回答が大阪市や全国の平均に比べて低い。体育の授業と健康的な生活とのつながりをあまり感じていない傾向にある。男子の90%に比べ、女子は63%と低い結果となった。体育の授業への意欲も低かったことが、原因と考えられる。また、目標を立てることも少なく、意欲的でないことが結果から読み取れる。「体育は楽しい、大切だ。」という気持ちをはぐくむための指導を授業や学級経営の中でも行っていきたい。

### 今後の取組

研修を行い、職員で全体共有することで、授業力の向上を図っていく。年間を通して、体育的行事を取り入れていき、体を動かすことで健康的で幸せな生活をおくれることを実感させていきたい。また、体育的行を取り入れる中で、個人のスキルアップを目指し、目標を定めて取り組ませていく。